



Shinich Yokota  
Putting Method  
With  
TourLinks TrainingAid



# 2Mを制するものは ゴルフを制す

横田真一プロの  
ツアーリンクストレーニングエイド  
を使用した特別メソッド

# カップの右フチから、コトリ

Tour  
Links<sup>®</sup>  
The Total Putting Green System

Yokota  
Method 1

カップ手前からギリギリ入るパット練習を僕らプロはよくやります。

ショートパットのタッチに自信がつくからです。

さらに、カップ手前センターにボールを置いて、そのボールをすり抜け、カップ右フチからコトリと落ちるパットにも挑戦します。

特に、短いパットでは筋肉が縮み、左に引っ張ってしまうことが多くなります。引っ張ったストロークは確実に左に行きます。

筋肉プレッシャーをいかに一定に保つか...右カップに打てるようになれば、パッティングは飛躍的に向上します。

誰もがカップの右半分を使えていないもの。右カップからも入るとわかれ、「カップは大きい」と実感し、ショートパットのプレッシャーも軽減されるでしょう。



機械のように細部の完璧を求めてはいけない

ボヤツと全体を見る、周辺視野を使うのだ

「お先!」に最高バランスの秘密発見

狙った方向に

打ち出されたその時の景色を、脳に刻み込む

カップの右フチから、コトリ

Contents



30cm先のゲート通過、出玉がすべて

まっすぐのラインを打てる事がとても大事だ

紐を張ってストローク感を刷り込み

集中してタッチの勘を身につける事だ

筋肉プレッシャーをいかに一定に保つか

全てが  
スムーズに動く、そのパットの感性を全てのパットに活かしたい

# 30cm先のゲート通過

ボールの転がり始めて、方向が1度ずれていたら大変です。

勢いよく打ち出されたボールでもその場の傾斜の影響を受け、カップからどんどん遠ざかっていく…そんな経験はありませんか?パッティング精度を上げるには、出球が大事なのです。今回のメソッドは30センチ先のゲートを通して練習です。30センチ先にボールを2つ並べます。そのボールとボールの間隔は、ボール1個半程度。最初は、2~3個の間隔でもいいでしょう。このボールのゲートにボールを通すようにパッティングします。

はじめは、ボールにぶつかってしまうかもしれません。練習していくうちに、しっかりとゲートを通過するようになります。このメソッドで、ラウンドでも打ち出し場所をイメージしてパッティングができるようになります。狙った方向に打ち出されたその時の景色を、脳に刻み込むこと、ショートパットを制する大基本です。

# 出玉がすべてです

## 「お先!」に最高バランスの秘密発見

Yokota  
Method 2



2 Mを制するものは  
ゴルフを制す

横田真一プロの  
ツアーリンクストレーニングエイド  
を使用した特別メソッド

30cm~50cm  
のパットを連発し  
てみてください。10  
0%入って当たり前  
のパットです。「お先!」  
の距離のパット、そこに  
自分が最も打ちやすい(や

りやすい)スタイルが潜んでいるのです。カップから30cm~50cmにボールを複数配置して、それを連続してカップインさせる。キチンと両足を揃えないかもしれません。体重配分、力の入れ具合…この「お先!」のパッティングが、自然な打ち方です。「お先!」のパット、打ち方は人それぞれ。全てがスムーズに動く、そのパットの感性を全てのパットに活かしたい…パーソナルなパッティング方程式を発見しましょう。これは1m~2mの“入れ頃・外し頃”的緊張のパットに活きてきます。ツアーリンクストレーニングエイドのフットスタンスは可動式だから、この練習が可能です。



## 2 Mを制するものは ゴルフを制す

横田真一プロの  
ツアーリンクストレーニングエイド  
を使用した特別メソッド



紐に沿ってストロークしての  
パット練習。トーナメント会  
場でも多くの選手がやる練  
習です。

この練習は、インパクトでの  
直角感を身に付ける為のもの。  
インパクト時にフェース  
とボールが直角にヒットす  
れば、トウ寄りでヒットしても  
まっすぐなボールが打てる。  
まっすぐなラインが打てること  
がとても大切なんです。

フェースは紐に対して完全  
な直角移動ではなく、わず  
かに扇型の軌跡になります。  
「まっすぐ引いて、まっすぐ  
出す」と言われますが、あま

りにまっすぐにこだわったり、機械のように細部の完璧を求めてはいけません。また、イ  
ンパクトの際、目をリラックスさせ、ボール周り全体をボヤッと見る「周辺視野」を使う  
ことも大切です。ボールやヘッドの軌道を凝視すると、身体がロックして正しいストロ  
ークが出来なくなります。ツアーリンクストレーニングエイドには、練習用の紐(ストリン  
グガイド)が標準で付属しています。

Yokota  
Method 4

## 紐を張つてストローク感を刷り込み

僕らはよくカップ手前にギリギリ止まる  
ように打ちます。もしくはギリギリカップ  
に落ちるように。なにしろギリギリが一  
番偉いんです。でも、パター・マットで練習していると、誰でも雑に打ってしまう。集中してタッチの勘を身につけることが大切...そのためにはギリギリが偉いんです。

それと、多くの人はカップ周りの傾斜を気にしますが、本当は出玉位置の傾斜の方がよほど大切です。カップ間際で曲がる程度なら入ることだってあるけど、出玉位置での傾斜はボールに勢い  
があっても影響を受けます。だから、思ったところに打ち出せているかは超重要ポイントなんです。大抵の人は、これを安易に考えがちなんです。

なので、パッティングの練習には、まずまっすぐのラインを打てる  
環境がとても大切。普通のパター・マットだとフックしたりスライス  
したりするもの。プレずにまっすぐ転がるパター・マットはいい。

### 横田メソッドを体感できるパッティンググリーン

ストレートボールできれいなボール回転を生み出す練習に最適  
パッティングのルーティーン作りのために開発された

#### ◎ツアーリンクス トレーニングエイド

トレーニングエイドは長さ7フィート(約2.1m)~13フィート(約3.9m)の3種類。  
従来見られなかった練習機能の全てが一体になっている全天候型パッティ  
ング練習グリーンです。あなたのストロークを全ての観点からフィードバ  
ックします。理想的な姿勢とインパクトが身につき、真っ直ぐなボール  
回転でカップの狙った位置に落とす。フルレンジスの距離だけで  
なく、プレッシャーがかかるような微妙な距離、さらにはレフテ  
ィーにも対応するトレーニングエイド。パッ  
ティングのルーティーン作りに必要  
な全てがここにあります。



Tour  
Links  
The Total Putting Green System

## 番外編

# タッチの勘を身につける



The Total Putting Green System



ツアーリンクスには  
トレーニングエイドの  
他にも様々なパッティ  
ンググリーンがござい  
ます。設置スペース  
にあわせたカスタム  
グリーンも施工いたし  
ます。



[www.  
tourlinks.jp](http://www.tourlinks.jp)

米国ツアーリンクス製品輸入発売元

**INOX東栄株式会社** 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町11-7(ダイセンビル)  
TEL:03(6825)6681 FAX:03(6825)6682  
[www.tourlinks.jp](http://www.tourlinks.jp) ツアーリンクス